

# 東アジアの中の日中関係 —40年の発展、現段階と今後—

国交正常化40年を経て、日中経済関係は大きく発展したが、両国の経済社会の課題、並びに、世界経済の構造変化と東アジアの経済成長を踏まえた、新たな関係構築が求められている。経済関係の発展と交流の拡大が必ずしも、国民感情と両国関係の改善につながらないことが明らかになる中、日中経済交流に深くかかわり、研究している中国と日本の研究者を招き、中国、日本、東アジアの持続的成長と格差縮小を実現するとともに、両国の平和友好関係を強化する日中関係を展望したい。

日時 2012年11月21日(水) 14:40~17:30

会場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス  
ローム記念館 5階 大会議室



## 基調講演 14:40~16:10

夏 占友 対外経済貿易大学 アジア共同研究院 副院長  
「東アジアの中の日中経済貿易関係  
:40年の発展、現段階と展望」



松本 盛雄 立命館アジア太平洋大学教授(前 濱陽総領事)  
「日中経済関係の変遷と  
『戦略的互惠関係』の再評価」



## パネルディスカッション 16:30~17:30

コーディネーター: 松野 周治 (社会システム研究所長)  
コメンテーター: 沈 海濤 (吉林大学東北アジア研究院教授)  
守 政毅 (立命館大学経営学部 准教授)

### 【参加申し込み】

所属・氏名を明記の上、下記までメールでお送り下さい。

